

特定非営利活動法人 城郭遺産による街づくり協議会からの提案

特定非営利活動法人 城郭遺産による街づくり協議会 監修

最新のCG技術により

蘇る城郭遺産

過去から未来へ

- (1) 世界に発信する記念事業のプロジェクトとして
- (2) 復元検討等の素材データとして
- (3) 復元整備、世界遺産登録、観光客誘致活動等のプロモーションとして
- (4) ガイドシステム等の基盤として・・・・・・・・

CG化によって…

- (1) 金銭的・時間的な効率化をはかり
- (2) 歴史的・文化的・技術的価値をそのままに
- (3) 視覚的に文化遺産を蘇らせます

CG映像の活用イメージ

- (1) 復元検討等の素材データとして
- (2) 復元整備、世界遺産登録、観光客誘致活動等のプロモーションとして
- (3) ガイドシステム等の基盤として……

銀杏城の愛称で県民から親しまれている、熊本城築城 400 周年に、地域貢献の一環として熊本城をCGで復元

過去から未来へ

歴史的建造物の復元と保存を…文化財保護のため

CG (Computer Graphic) 技術によって現代へつなぎます。

文化財の3次元デジタル化とそのデータベース化の社会的ニーズは急速に高まっています！

復元プロセス

熊本城周辺の地形を航空写真や空中写真測量より得られたデータをもとにして形状を作成



既存資料の確認と、現存する全ての石垣について現地調査で形状を把握し、忠実に復元



本丸御殿の復元 1



本丸御殿の復元 2



本丸御殿の復元 3



本丸御殿の復元 4



地形への合成



熊本城 昭君之間



= 熊本城 =
 築城年 慶長 12 年 (1607 年)
 大坂城・名古屋城とともに日本 3 大名城と称される。築城の名手加藤清正が創りあげた大城郭であるが、1877 年の西南戦争でその殆どが消失し、その復元には莫大な費用と多くの時間を要します。



= TV 番組で放映 =
 熊本城復元CG作成は、上記の県民テレビによる特別番組に協賛しました。番組で採用されたCGの技術は、東京のTV番組制作会社から高い評価をいただいています。

復元にあたっては、築城当時の測量技術水準、軍事機密的位置づけなどにより、図面等の資料はほとんど残っていないため、設計図とは程遠い絵図や文献に残される寸法、明治初期に撮影された古写真等の僅かな資料をもとに作成された図面等を参考。資料が不足する部分は時代考証や類似事例、研究者の監修などにより製作。

お問い合わせは 特定非営利活動法人 城郭遺産による街づくり協議会

〒520-2279 滋賀県大津市黒津三丁目12番3号

HP : http://www.npo-tmic.org/jyoukaku/jyoukaku_index.htm

E-mail jyoukaku@npo-tmic.org